

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年4月10日

事業所名 児童支援センター 燦保

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0	・利用人数に応じて、活動を工夫したり、グループに分けて順番で行うなどの対応をしている。また、敷地内のトロの丘や地域にある公園や神社などでの活動を取り入れている(野外活動)
	②	職員の配置数は適切である	4	0	0	・利用児の特性や活動に応じて規定人数よりも多く配置し、手厚く支援を行っている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された、環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0	1	・バリアフリーが必要な児童が契約された場合は対応できるようにする必要がある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっている	4	0	0	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	1	
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	3	・設立1年目。評価結果を基に職員間で話し合い、改善すべき点は見直しを行い、利用者(児童・保護者)の方の安心を得られるようにしていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を事業所の会報やホームページ等公開している	0	0	4	・定期的にアンケート調査を行っていく。 ・保護者の方が安心して利用して頂けるように、毎月配布しているお便りや、Facebookで活動の様子を報告し、ホームページ等で評価の結果をオープンにしていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	4	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	・外部主催の研修に参加している ・毎月職員会議を行い、研修報告・取組の評価・課題を職員間で話し合っている。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・契約の時の聞き取り(アセスメント)と、相談員さんの計画を基に無理のない個別支援計画を作成している。 ・本人の意向と、家族の要望に基づく到達木放を設定し、個別支援計画を作成している。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0	1	

適切な支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	0	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0	・定期的に個別支援会議を行い、評価・考察を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	0	0	・季節の行事や、利用児のニーズを取り入れた活動を取り入れ、刺激ある1日となるようにしている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3	1	0	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	0	1	・スタッフ間の役割分担表を作り、いつでも確認出来るように示している。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	・その日のミーティングで、一人一人の個別支援記録を取っている。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	
	関係機関や保護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	0	・園送迎時に利用時の様子を伝え、情報交換を行っている。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや常勝心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	0	・装具のつけ方等、職員に周知後に手順書を見やすい所に貼っている。
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや常勝心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	0	

有との連携関係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	0	・送迎時に利用時の様子を伝えたり、定期的に担当者会議を行っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	0	3	・設立1年目で今回が初めてだが、相談員さんと情報を共有し、安心して入学できるように連絡を取り合っている。
	②⑦	ほかの児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	0	3	・会議に参加し、社内研修で周知している。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	0	1	・地域の行事や、保育園の活動に参加させていただき交流を図っている。
	②⑨	(自立支援)状議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	0	1	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	・送迎時や連絡帳、又は電話等で利用時の状況を細やかに伝えている。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	1	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき、作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	0	
	③⑭	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	・定期的に保護者会を開催し、相談支援、保護者同士の交流を行っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	1	0	保護者会を行い、保護者同士の交流は行っているが、連携支援は行っていないので、今後の課題とする。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応する	4	0	0	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	・毎月、活動報告と次月の活動予定表を配布している。また、Facebookに投稿し情報を発信を行っている。

	③⑧	個人情報の取り扱いには十分注意している	4	0	0	・鍵のついたキャビネットを設置し、保管管理している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	・連絡ノートは家族の方との大切記録や情報が記載されているため、関係機関の方には、保護者の了解を得てから確認して頂く様にお願いしている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	0	0	・連絡ノートを返す際、保護者の方の意向に沿うように(情報が漏れないように厳重に)している。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	1	職員や保護者に対して周知しているが、マニュアルは完成されていない(製作中)
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0	1	3	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	0	契約時に確認を行っている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	0	2	
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	1	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	0	2	